

第 65 回全国博物館大会開催要項

大会テーマ 「今、博物館に求められていること ～持続可能な社会における役割～」

第 65 回全国博物館大会は、「今、博物館に求められていること～持続可能な社会における役割～」をメインテーマとして開催します。

本大会の開催地大分は、古くから「豊の国」と呼びならわされており、常に外来の文物や思想を積極的に取り入れながら、多様性に富んだ文化を形成してきた土地柄です。大分県立美術館は建築家 坂茂（ばん しげる）氏の設計で、街路と美術館を一体化した意欲的な建物となっており、2015 年度の JIA 日本建築大賞を受賞しています。

本大会においては、各博物館が、わが国の博物館が置かれている「いま」を多角的に検証し、目指すべき「これから」を持続可能性の中に捉える機会として、さまざまな角度から掘り下げた考察を行います。

- (1) 基調講演では、(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団理事長 佐藤 禎一 氏から「持続可能な社会に向けた博物館の役割」について講演をいただきます。
- (2) 全国博物館フォーラムでは、文部科学省・文化庁の施策の紹介を行うとともに、「博物館登録制度のこれから」、ICOM 京都大会、大分県内の博物館の状況などについて説明し、フロアからの発言も求めながら、協議してまいります。
- (3) シンポジウムでは、「博物館における人材育成～学校教育との連携を例に～」と題して、少子高齢化・高度情報化など社会環境が大きく変化する中で、学校教育・生涯学習・地域づくりなど様々な場面において求められる新たな博物館像について、パネリスト及び参加者と実例を交えながら議論を深め、学校・地域社会と博物館との対話と連携の在り方について考えます。
- (4) 分科会では、全国博物館フォーラム及びシンポジウムを受けて、
 - ①「芸術文化による観光振興・地域づくり」(分科会 1)、
 - ②「求められる新たな学芸員像」(分科会 2)、
 - ③「文化財の防災及び災害復旧対策」(分科会 3) のテーマのもと、それぞれ事例発表の後、参加博物館園の方々と議論を深めていきます。併せて、大分、豊後大野、別府、宇佐の文化施設等の見学を通じて、今後の博物館の活動に役立てるとともに、参加の方々の意見交換や交流の機会となることが期待されます。

- 主 催 公益財団法人日本博物館協会
- 共 催 大分県
大分県教育委員会
大分市
大分市教育委員会
大分県博物館協議会
公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団
- 後 援 文部科学省
- 協 賛 三和酒類株式会社
株式会社丹青社
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社トータルメディア開発研究所
株式会社乃村工藝社
- 会 期 平成29年11月29日(水)～12月1日(金) 3日間
- 会 場 iichiko 総合文化センター (iichiko 音の泉ホール等)、大分県立美術館
- iichiko 総合文化センター (iichiko 音の泉ホール等)
住所：〒870-0029 大分県大分市高砂町2番33号
TEL：097-533-4000 (代表) FAX：097-533-4009
- 大分県立美術館
住所：〒870-0036 大分県大分市寿町2番1号
TEL：097-533-4500 FAX：097-533-4567
- 参 加 者 1. 本協会加盟の下記の者
維持会員
賛助会員
2. 大分県内の博物館関係者
3. その他博物館協会が認めた者

<日程>

第1日目：11月29日（水）

時 間	プ ロ グ ラ ム
12:30～13:30	受付
13:30～14:15	開会式 挨拶：銭谷 眞美（公財）日本博物館協会会長 祝 辞：文部科学大臣、大分県知事、大分市長 表彰式：顕彰、棚橋賞、博物館活動奨励賞
14:15～14:20	全体会議、決議起草委員選出
14:30～15:15	基調講演 「持続可能な社会に向けた博物館の役割」 講 師 （公財）大分県芸術文化スポーツ振興財団 理事長 佐藤 禎一
15:30～17:00	全国博物館フォーラム 司会 半田 昌之 日本博物館協会専務理事 ・文部科学省生涯学習政策局社会教育課長 八木 和広 ・文化庁文化財部美術学芸課長 圓入 由美 ・大分市美術館 館長 菅 章 ・西宮市貝類館 顧問 山西 良平 ・京都国立博物館 館長 佐々木 丞平 (ICOM 京都 2019 組織委員会委員長)
17:10～18:20	展示会プレゼンテーション
18:30～20:00	情報交換会（於：大分オアシスタワーホテル） （アトラクション） 鶴崎踊（出演：鶴崎おどり保存会）

第2日：11月30日（木）

時 間	プ ロ グ ラ ム
9：30～11：45	<p>シンポジウム「博物館における人材育成～学校教育との連携を例に～」 コーディネーター 東京大学大学院教育学研究科 教授 秋田 喜代美 パネリスト</p> <p>学校法人共立女子学園 理事長 御手洗 康 埼玉県教育委員会 教育長 小松 弥生 （元独立行政法人国立美術館 理事兼事務局長） 国立科学博物館 博物館等連携推進センター長 小川 義和 大分県教育庁義務教育課長 米持 武彦</p> <p>事例発表</p> <p>大分大学教育学部 准教授 藤井 康子 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 企画室企画監（学校連携担当） 木村 典之 大分県立美術館 学芸企画課 主幹学芸員 （教育普及グループリーダー） 榎本 寿紀</p>
11：50～12：30	決議起草委員会 （会場）iichiko総合文化センター 中会議室1（4F）
11：50～13：30	昼食、休憩
13：30～15：45	<p>分科会1「芸術文化による観光振興・地域づくり」 司会 特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事 山出 淳也 講師 由布院温泉観光協会 会長 桑野 和泉 講師 株式会社マリーンパレス 代表取締役社長 橋本 均 講師 九州旅客鉄道株式会社 常務取締役 後藤 靖子 講師 大分香りの博物館 館長 江崎 一子</p> <p>会場： 分科会 1 県立美術館研修室</p> <p>分科会2「求められる新たな学芸員像」 司会 九州国立博物館 館長 島谷 弘幸 講師 九州大学大学院人文科学研究院 教授 後小路 雅弘 講師 大分合同新聞社文化科学部 部長 安東 公綱 講師 大分市美術館 館長 菅 章 講師 大分県立美術館 館長 新見 隆</p> <p>分科会 2 iichiko総合文化センター 音の泉ホール</p> <p>分科会 3 iichiko Space Be 映像小ホール（BF 1）</p> <p>分科会3「文化財の防災及び災害復旧対策」 司会 京都大学理学研究科 教授 竹村 恵二 講師 熊本大学大学院先端科学研究部環境科学部門 教授 伊東 龍一 講師 別府大学史学・文化財学科 教授 飯沼 賢司 講師 大分県立先哲史料館 館長 大津 祐司 講師 大分県立歴史博物館 学芸調査課長 菅野 剛宏</p>
16：00～16：30	全体会議、閉会式
16：30～18：00	大分県立美術館 施設および展覧会見学（自由参加）

分科会1：地域の歴史や自然、そこで育まれた文化を背景に、どのように地場の浮揚や観光振興が図られてきたかについて、「おんせん県おおいた」の実践事例を報告。併せて、地域振興において博物館が担うべき役割について検討する。

分科会2：学芸員の役割について、設置者が異なる様々な立場から現状を報告。それを受けて、学芸員として変わらず堅持すべきこと、今後、意識的に変革すべきこと等について議論を深める。

分科会3：近年多発する自然災害とそれにともなう文化財被害について、具体的な事例を報告。これに対して、どのような対策が講じられてきたかを情報共有しつつ、さらなる効果的な取り組みについて意見交換する。

第3日：12月 1日（金）

時 間	プ ロ グ ラ ム
9：00～17：35	施設見学

* 9時より自由参加プログラムとして、施設見学を行います。（参加費無料・各コースとも貸切バス利用、昼食：各自）
ご希望のコースをお選びの上、お申し込みください。

<施設見学コース>

◆Aコース（大分・豊後大野コース）（バス）

9:00 オアシスタワーホテル
 ⇒ 9:20 大分市歴史資料館 10:10⇒
 ⇒11:20 朝倉文夫記念館 12:10⇒
 ⇒12:40 原尻の滝 (昼食：各自) 14:00⇒
 ⇒15:10 大分市美術館 16:00⇒
 ⇒16:10 大分駅 16:15⇒
 ⇒16:20 大分オアシスタワーホテル 16:25⇒
 ⇒17:35 大分空港

◆Bコース（別府・宇佐コース）（バス）

9:00 オアシスタワーホテル
 ⇒ 9:40 大分香りの博物館 10:30⇒
 ⇒11:20 安心院葡萄酒工房 12:10⇒
 ⇒12:40 宇佐神宮 (昼食：各自) 14:00⇒
 ⇒14:15 大分県立歴史博物館 15:05⇒
 ⇒15:20 宇佐駅 15:25⇒
 ⇒16:25 大分空港 16:30⇒
 ⇒17:35 大分オアシスタワーホテル